

商工連ながの

2025.5
VOL.400

- 商工連臨時総会／叙勲・県知事表彰／人事異動のお知らせ
- 【上席専門経営支援員】のご紹介／DXワンポイントコラム(第12回)
- 県女性連事業報告レディースフォーラム開催／県青連事業報告青年部4ブロック交流会開催
- 「おやき」で人と地域を繋ぎ、幸せを実現しつづける
有限会社いろは堂 中小企業の新たな事業活動
- 事業者と造る産業振興と地域住民との協働推進による地域活性化
富士見町商工会 商工会と商工会のあるまち 南信-Vol.1
- 中小企業にとっての人材確保・育成のポイント
経営ワンポイントアドバイス

- 再びコンプライアンスについて
法律ワンポイントアドバイス
- わっこ谷の山福農林舎 代表 和栗 剛 さん
筑北村商工会 この人に注目-Vol.142
- 信州DCの誘致を要望し令和9年の開催が決定／
日赤長野県支部からのお知らせ 日赤活動資金へのご協力のお願い
- 対談 全国連地域経済再生本部長 宮窪 大作氏
- 商工会ビジネスプラスカード入会のご案内



長野県商工会連合会のホームページ・E-mail アドレス
<https://www.nagano-sci.or.jp/>
shokoren@nagano-sci.or.jp



サニア
パーク

平成11年に誕生した「サニアパーク」は、根子岳（ねこだけ）と四阿山（あずまやさん）の麓、菅平高原に広がる日本有数のトレーニング施設です。5面の天然芝グラウンドと第3種公認の全天候型陸上競技場を中心に、全日本クラスの試合やスポーツ合宿が行われるハイレベルな環境を提供しています。令和6年にはスポーツブランド「アンダーアーマー」とネーミングライツ契約を締結し、「アンダーアーマー菅平サニアパーク」の愛称で親しまれています。スポーツ大会や合宿の拠点として多くの関係者から支持を集めています。
(真田町商工会)



ホームページ
宿泊施設情報

エリアでの 広域支援体制の 推進

商工連は3月25日（火）長野市「ホテル国際21」にて臨時総会を開催し、阿部知事をはじめ来賓ご臨席のもと県下商工会長など関係者約80名が出席しました。

冒頭、間瀬会長からインバウンド需要が堅調に推移しているが観光地ではオーバーツーリズムの状態であり、製造業に関しては米国トランプ大統領の関税の動きが本県の下請け業者に対する影響を危惧している。また、令和7年度は第2期商工会マスタープランが折り返しの3年目となり、エリアでの広域支援体制を着実に実施する旨説明がありました。

提出議案は全て承認されました。

来賓祝辞を述べる阿部知事

なかでも活力ある地域づくり、若者や女性から選ばれる寛容な社会づくりを目標にしたいとの挨拶がありました。

商工会・商工連 人事異動のお知らせ（補助対象職員及び事務局長）

【商工会】		令和7年4月1日付	
商工会名	職 名	氏 名	前商工会等
浅科	経営指導員	橋詰 佳祐	長和町
川上村	経営指導員	長林 奈美	川上村・補助員
軽井沢町	補助員	土屋 初代	商工連
上田市	経営指導員	竹内 芳幸	商工連・商工会指導員
上田市	補助員	大坂 恵理子	商工連
東御市	経営指導員	宮澤 瑛希	商工連・補助員
長和町	補助員（研修職員）	小林 翔悟	新規
富士見町	経営指導員	三好 将摩	商工連・補助員
辰野町	経営指導員	林田 航太	辰野町・補助員（研修職員）
宮田村	事務局長	吉澤 一義	新規
高森町	補助員	本島 清次	商工連
喬木村	経営指導員（再雇用）	井口 公男	商工連・広域専門経営支援幹
豊丘村	経営指導員	竹沢 浩一	阿智村
豊丘村	補助員	中村 靖子	豊丘村・記帳指導職員
阿南町	経営指導員	吉川 英紀	上田市
阿智村	経営指導員	吉澤 正幸	阿智村・補助員（研修職員）
下條村	補助員	勝亦 遼	泰阜村
泰阜村	補助員（再雇用）	鈴木 直美	下條村
南木曽	事務局長	勝野 実	新規
木曽町	経営指導員	百瀬 宏幸	新規
木祖村	補助員	狭場 珠紀	木祖村・記帳指導職員
安曇野市	事務局長	高嶋 雅俊	新規
山形村	事務局長	篠町 通憲	新規
小谷村	補助員（研修職員）	和田 修平	新規
長野市	経営指導員	村田 美紀	長野市・補助員（研修職員）
信州新町	経営指導員	西村 和幸	小谷村
戸倉上山田	経営指導員	関川 貴幸	戸倉上山田・補助員（研修職員）
飯綱町	経営指導員	野池 進一	上田市
野沢温泉	経営指導員	兒玉 智志	南木曽

【商工連】			
商工会名	職 名	氏 名	前商工会等
商工連	参事	加藤 浩	前 長野県観光スポーツ部長
商工連	経営支援課長	青木 隆典	経営支援課 広域経営支援推進室 課長兼室長
商工連	広域経営支援推進室長	鳴澤 力	東信支所長兼センター長
商工連	南信支所長兼センター長	玉本 圭一	豊丘村・経営指導員
商工連	東北信支所長	山下 佐代	北信支所長兼センター長
商工連	広域経営支援推進室・広域専門経営支援員	日野 亮	木曽町・経営指導員
商工連	広域経営支援推進室・広域専門経営支援員	原 博史	富士見町・経営指導員
商工連	広域経営支援推進室・広域専門経営支援員	矢澤 哲也	南信支所長兼センター長
商工連	広域経営支援推進室・広域専門経営支援員（スーパーバイザー）	濱田 廣雄	東信支所・広域専門経営支援員
商工連	広域経営支援推進室・広域専門経営支援員（スーパーバイザー）	佐野 道郎	北信支所・広域専門経営支援員
商工連	経営支援課・主事	清水 公一	新規
商工連	経営支援課・主事	安藤 幸恵	新規

叙勲・県知事表彰受章者の顕彰
長年の商工業振興、商工会運営に対して叙勲・県知事表彰を受章された方々の功績を称え、顕彰が行われました。顕彰された方々は次のとおりです。

〇旭日章

令和6年秋 木藤 利光（松本市波田商工会長、長野県商工会連合会理事）

〇長野県知事表彰

令和6年 宮崎 正毅（木島平村商工会長、長野県商工会連合会理事）

高村 秋光（前戸倉上山田商工会長、前長野県商工会連合会副会長）
竹花 信明（前立科町商工会長）
（順不同・敬称略）



左から高村氏、宮崎氏、間瀬連会長、木藤氏（竹花氏欠席）

長野県商工会連合会 【上席専門経営支援員】 ご紹介

製造業の直接、間接作業の ムダ削減で生産性向上を支援します

【支援内容】



うえしま たけのり
上嶋 健紀
(製造業支援担当)

- ・TPS(Toyota Productin System) 思想に基づく5S3定での付加価値無し作業の削減
- ・MDW(Measured Day Works) 導入で生産性を数値化
- ・IEツールで現状を把握し、改善案を提案
- ・回収時間と固定費から直接作業時間単価を設定
- ・目標経営指標(売上、利益)から改善目標値を設定
- ・エクセルVBAによる入力作業、データ処理を効率化

《上席専門経営支援員とは》

高度専門的な経営課題に対応するため上席専門経営支援員(内部専門家)を長野県商工会連合会に配置しています。

商工会の主任経営支援員等と連携して支援をすることになっていますので、ご相談がありましたらお近くの商工会までご連絡ください。

集客力アップのためにITツールの 効果的な活用方法をアドバイスします

【支援内容】



ももせ まさとし
百瀬 正敏
(商業支援担当)

- ・ビジネス情報の発信方法
- ・SNSの活用
- ・ネットショップによる販路拡大
- ・小売/サービス業の創業支援

就業規則や業務改善助成金について 具体的事例を交えて説明します

【支援内容】



さとう こういち
佐藤 弘一
(労務・働き方改革支援担当)

- ・労働諸法に遵守した就業規則の整備支援
- ・最低賃金額の引上げに関する相談
- ・生産性向上による労働能率の増進、業務環境改善のための設備導入に活用できる業務改善助成金の説明
- ・非正規有期雇用労働者を正規雇用労働者に引上げるための助成金の申請支援
- ・定年年齢の引上げ又は定年制の廃止を進めるための助成金の申請支援

IT利活用による業務効率化、 ぜひご相談ください

【支援内容】



よこさわ みつる
横沢 充
(AI・IoT・DX戦略支援担当)

- ・携帯アプリやパソコンを使った省力化・人手不足解消
- ・紙文化からデジタル化・ペーパーレス化への転換
- ・社内の情報のデジタル化・共有化
- ・顧客情報のデジタル化による顧客サービス向上
- ・システム導入に関する公的支援機関・補助金利用紹介

DXワンポイントコラム(第12回)

脱 手書きノート!



長野県商工会連合会
上席専門経営支援員
(AI・IoT・DX戦略支援担当)
横沢 充

得意先との取引内容や顧客対応の履歴をノートに書き溜めている、という事業者が結構多いようです。注文や予約の申込があるたびに手書きのノートをめくって、「このお客様にはいつ、なにを、どれだけ、いくらで提供しているんだろう」とか、「この品物はほかの取引先にはいつ、どれだけ、いくらで販売していたかな?」を時間をかけて調べている。それでは非効率だし顧客サービスとしてもよろしくないし、パソコンの画面ポチポチでパパッと出てきてくれればいいのにな、とは思いますが、パソコンは得意ではないし、専用ソフトを使うと費用もかかりそうだから、とあきらめていませんか?

簡単で、しかもお金を掛けずに、劇的な事務の効率化を実現できる方法がきっとあります! ぜひ一度商工会にご相談ください。

県女性連「レディースフォーラム2024」を開催

県女性連は2月13日(木)、長野市「ホテルメトロポリタン長野」にて「レディースフォーラム2024」を開催しました。寒波襲来の中での開催でしたが、幸いにも当日は雪が降らず、県内各地から女性部員109名が参加しました。

事例発表では、3つの女性部が活動内容について発表を行い(内容は右記のとおり)、参加者は自らの女性部の活動に生かそうと真剣に聞き入っていました。

講演会では、全国商工会連合会地域再生本部長の宮窪大作氏を講師にお招きし、「地域(ふるさと・人・土地)を創ること」と題してご講演いただきました。ご自身の青年部・壮青年部活動の中で取り組まれてきた就労支援などを通じて感じた“縁”について語られ、参加者にとって学びの多い時間となりました。

また、例年好評を博しており、今年度で3回目となる物産展も開催しました。今回は6つの女性部(小海町、川上村、南牧村、小谷村、坂城町、飯綱町)が地元産品を販売し、好評のうちに早々に完売する商品もありました。参加者からは次回以降も開催を望む声も多く寄せられました。



講演を行う宮窪大作氏

【部員増強運動について】

長和町商工会女性部▶令和6年度加入促進強化期間実績第1位。9/1～12/31の期間に部員を15名増やした成果を発表した。長和町商工会女性部では、部員数減少と高齢化に直面し、部の在り方を見直した。固定的な役割を改め、研修会や交流会を通じて部員のスキル向上と相互支援を図る方針を確認した。また、会員募集活動「つながろうキャンペーン」を実施し、若手を中心に10名純増。さらにLINEの活用や講演会・交流会の企画など積極的な取り組みで魅力ある組織を目指している。(森田美智子部長)

【次世代起業家育成について】

小海町商工会女性部▶次世代起業家育成を平成30年から令和6年までに計5回開催し、小学生を対象に職業体験の場を提供してきた。地元企業が参加し、児童は様々な職業を体験することで、地域の技術や誇りを学ぶ機会となっている。体験を通じて児童の学習意欲が向上し、将来の職業選択にも役立っている。実際に参加した児童の半数以上が「将来、小海町で働きたい」と答えており、地域の未来を担う人材育成の一助となっている。

(北原富美子部長)

【おもてなし交流事業について】

下條村商工会女性部▶「下條いいモン見まいか、食べまいか」プランを企画し、今年度初めて愛知県岩倉市商工会女性部の10名を受け入れた。短時間の滞在に合わせ、りんご狩りを中心とした交流を実施。さらに地元特産品を使ったおもてなしや農園見学を行い、参加者から高い評価を得た。今後はプランの改善を図るとともに、他地域のプラン体験にも意欲を示している。また、交流の中で意見交換を行うことで、部員の資質向上にもつながる有意義な機会となった。(細田ヒロエ副部長/亀割亜由美副部長)

青年部4ブロック交流会開催

県青連は令和6年11月13日(水)に茅野市「茅野市民館」にて、初めての取組みとなる「青年部4ブロック交流会」を開催し、33名の出席がありました。交流会前半は東南中北各ブロックの青年部の活動について発表があり、令和5年度主張発表全国大会の準優勝者を招いた地区研修会の実施や、毎年恒例のボウリング大会やわかさぎ釣り交流会の実施など、各地区のユニークな活動が共有されました。交流会後半ではグループに分かれ、青年部活動についての情報交換や共通の課題として部員の減少について意見が交わされました。参加者からは、「地区をまたいだ意見交換ができたことは非常に有意義だった」等の感想が寄せられ、本交流会は令和7年度も継続して実施する予定となりました。



グループでの意見交換の様子



ブロック取組み発表(東信)

中小企業の新たな事業活動



OYAKI FARM

「おやき」で人と地域を繋ぎ、 幸せを実現しつづける

有限会社いろは堂 長野市商工会

〒381-4393 長野県長野市鬼無里1687-1

本店 TEL : 026-256-2033 OYAKI FARM TEL : 026-214-2800

URL : <https://irohado.com/>

弊社は、大正14年、小川村で和菓子屋として創業しました。その後、旧鬼無里村に移転し、パンや菓子の製造をした後、現在は「おやき」の専門店として製造販売の事業を営んでおります。2022年にはおやきの新たな製造発信拠点としてOYAKI FARMを開業しました。整った衛生環境で製造を強化するとともに、おやきの販売や工場見学、おやき作り体験等、おやきを新たな切り口で発信し、幅広い地域や

幅広い世代の方におやきの可能性や面白さを感じていただけることを目指しています。現在では年間450万個（2工場計）のおやきを生産し、販売においては年間30万人の来場、2,000人以上のおやき作り体験をしていただいています。おやきは元々、北信地域の各家庭で作られていましたが、今では家庭でつくられる事は無くなりつつあります。しかしながら地理や歴史的背景を持った

食文化であるおやきを、これからの地域に根付かせ継承していかねければなりません。そのためには地域の子供たちの社会見学や体験、授業などを積極的に行的他のおやき事業者とも連携して、おやき文化を守っていく取り組みを行っています。一方でおやきは野菜が豊富に摂れ、栄養バランスが高く、手軽に食べられる点や利用シーンも多岐にわたることから高い潜在能力を秘めている食品であると考えています。それを国内、海外を問わず多くの方に知っていただくために営業・マーケティングを強化しています。このように伝統文化として守り継承しながら、普及発展をさせる両面のバランスを持って事業を展開していきたいと考えています。更なる成長を目指しながらも、その原点にあるのは心をこめたおやき作りで



5種盛り合わせ



本店

す。開発当初からの美味しさと安心安全と言う品質を守り続けながら、生産者の想いを繋ぎ、そこに作り手としての想いを乗せてお客様に届けられるよう努めてまいります。今年創業100年を迎えるにあたり、改めて地域の皆様、お客様、関係者皆様のご縁や多くのご支援の賜物と感謝をしております。これから先、我々の事業が経済性だけでなく真に地域社会への貢献の一助となり環境配慮への取り組みも実施することで、「おやき」で人と地域を繋ぎ幸せを実現し続けられる、存在価値のある企業となるよう尽力して参ります。



事業者と造る産業振興と地域住民との 協働推進による地域活性化



富士見町は日本百名山の一つである八ヶ岳と、南アルプス北端の入笠山に挟まれた高原の町です。諏訪エリアの中でも標高は高く、生活圏となる標高は700～1,200m。そのため夏は涼しく湿度も低いいため快適で、避暑地としても知られています。

「地域の将来への施策」

富士見町の産業の将来を見据えたこれからの方針を



長野県地域発元気づくり支援金で県知事賞をいただきました

計画する為に、地元金融機関の協力をいただき「産業振興の為の環境調査」を行いました。当町も緩やかではありますが、人口減少の道を辿っております。14,000人程度の町が、現在の地域内経済循環だけでは経済や産業は縮小の道を進みます。何に取り組み、どんな方向性を持ったら良いのかを我々は模索し始めました。なかなか進まない状況ではありますが、令和7年度は商工会として町内の事業所がみんなで意見を出し合い、提案をし、魅力のある町作りに取り組みます。

「地域を巻き込み、みんなで参加」

平成30年5月、富士見町が八ヶ岳をまたがる市町村と一緒に申請した「星降る中部高地の縄文世界」が日本遺産として認定されました。縄文の文化の発信源として富士見町には日本でも代表的な縄文時代、かつて人々が集っていた井戸尻遺跡があります。

富士見町商工会は令和元年を初年として「長野県地域発元気づくり支援金」へチャレンジをし、採択されました。テーマは日本遺産に登録された「縄文文化」×「観光ポテンシャル」×「地域活性化」の機運の高揚を町として地域協働を掲げた事業として策定しました。令和2、3年度とコロナ禍で実施できなかったものの令和4、5年度と再度申請し採択をいただき実施いたしました。令和5年度にはそこまでの実績が評価され、県知事賞をいただく事が出来ました。色々な事業が開

催出来るのも商工会役員、会員、協力してくださった地域の皆様のお陰です。大勢の方々の協力に感謝申し上げます。

令和6年度からも人口減少等の課題解決として町外に出ていった若者、女性等にも興味を持ってもらう仕組み作り、地域振興事業を通して、Fターン（Uターンの富士見町版）や関係人口を増やし、移住者の獲得と定住の促進の取組みを考えています。

他にも町内の飲食店や菓子・パン屋から縄文フードメニューを募集し、「縄文フードフェア」を実施、「縄文」をコンテンツないしコアとした地域振興として展開を目指しています。縄文フードが当町の特産品・土産品であり、ソウルフードとなるよう引き続き取り組んでいきます。

富士見町には国史跡「井戸尻遺跡」に妻子と共に住んでいたとうわさされる縄文人「ムサイさん」がタイムスリップし、町内のイベントにたびたび姿を現しイベントを盛り上げてくれます。去年は日本遺産における魅力増進・魅力発信事業により、富士見町だけでなく、近隣の原村・茅野市等の諏訪圏域と、山梨県小淵沢や川上村まで出展しています。原村商工会や川上村文化センターにはポスターが貼ってあるので、ぜひ見てみてください！





中小企業診断士
内田 英明 氏

中小企業にとっての 人材確保・育成のポイント

近年、労働力に対する需給がひっ迫して人材の争奪戦が激化しています。「人手不足倒産」も増加し、ある信用調査会社のレポートによれば2024年には過去最多の件数が発生しています。人材確保は中小企業にとってまさに生き残りのカギとなっています。

賃上げにどう取り組むべきか？

昨今の物価高騰も相まって、賃上げの必要性が高まっています。対外的に競争力がある給与水準や福利厚生は人材確保にとって重要な要素です。しかしながら、給与面で中小企業が 대기업に対抗するには限界があり、より大局的な視点を持つ必要があります。もちろん給与の世間相場には目配りをした上で、可能なレベルで賃上げをしなければなりません。が、働きやすい職場環境の整備、成長機会の提供、良好な企業文化の醸成などにも取り組むことが大切です。

モチベーション理論を活用する

さらに参考になるのがモチベーション理論です。特に有名なのが、米国の心理学者であるF・ハーズバーグ氏がその調査研究をもとに提唱した「二要因理論」です。一部には異論や批判がありますが、理論としては合理的と言えます。具体的には人事労務管理に必要な要素を「動機付け要因」と「衛生要因」の2つに分けて考えます。

■**動機付け要因**…仕事の満足度に関わるもので、「多いほど仕事に対して前向きになる」要素。

■**衛生要因**…仕事の不満に関わるもので、「不足していると不満を感じる」、「あるからと言って必ずしも満足にはつながらない」要素。

二要因理論

動機付け要因

☑仕事の「満足」につながる要因

- ・ 達成感
- ・ 承認
- ・ 仕事に対する興味
- ・ 責任
- ・ 自己成長・昇進

衛生要因

☑仕事の「不満足」につながる要因

- ・ 給与
- ・ 労働条件
- ・ 福利厚生
- ・ 経営方針
- ・ 人事労務制度
- ・ 職場の人間関係

注意したいのは、給与は「衛生要因」に属するということです。つまり給与水準は、低

いと不満になりますが、高いからと言って必ずしも満足にはつながらない要素です。従業員の立場からすれば、給与水準は高い方が良いのは言うまでもありませんが、経営者には世間相場と自社の内情とのバランスを考慮しながら、賃上げを慎重に進めることが求められます。

経営者がより留意しなければならないのは「動機付け要因」です。大切なのは、仕事に対する達成感や他者からの承認を従業員により多く体験させ、自身の成長につながる仕事への興味を高めることです。

必要なのは適切な評価と

プラスのフィードバック

そのためには、従業員の働きぶりを適切に評価しなければなりません。従業員数がそれほど多くない企業では体系的な評価制度を整備する必要はありませんが、経営者は従業員一人ひとりをしっかりと見ることを意識しましょう。

大企業も巻き込んだ人材の争奪戦が続く中で、中小企業が欲しい人材を採用する難度は以前にも増して高くなっています。したがって、すでに在籍している従業員をいかに育成できるかが課題です。従業員の日頃の働きに対してポジティブなフィードバック（称賛や感謝）を継続しながら成長を促していくことが、企業の発展に直結します。



弁護士
宮澤 建治 氏

再びコンプライアンス について

1 コンプライアンス (Compliance) という

英語は、一般的に「法令等を遵守して業務を行うこと」と訳されていますが、私は「商工連ながの」の平成23年(2011年)11月号の「法律ワンポイントアドバイス」誌上で、コンプライアンスの正確な意味は、法律、政・省令、条例などの実体法を守ることのほか、企業(個人・団体を含む)の社会的責任(CSR)を自覚し、社会的責任を果たしていく積極性を持ち、この企業経営者の認識と意欲に従業員の意識に浸透させ、企業内に組織体制を確立していくことであると考えるべきである旨を申し上げましたが、この時から13年余を経た今日、世界や我が国をリードする大企業を始め中小企業に至るまで、様々な不祥事が続発し、留まるところを知らない有様であり、国民の倫理観の低下さえもが危惧される状態となっていると言わざるを得ず、コンプライアンスはお題目の如き感さえする程です。

2 このような現状を改善するためには、企

業の経営者や幹部がコンプライアンスの意味・内容を十分に理解し、自己の企業がどのような社会的責任を担い、如何なる責任を果たしていくべきかを認識することが最も重要であり、次には企業の従業員に対してコンプライアンスの意味・内容を理解させ、従業員一人一人が所属企業の社会的責

任を自覚して日常業務に従事するよう指導

し、研修を実施することが必要であり、次いで、企業にコンプライアンス違反がないかをチェックする体制を作ってコンプライアンス違反の発生を極力抑止するよう努めるべきであり、更にはコンプライアンス違反が発生した場合に迅速且つ適正な対応をすることが重要だと思っています。そして、これらの対応についての具体的な組織・体制(ガバナンス)としては、従業員のコンプライアンス意識を啓発したり、現実に発生したコンプライアンス違反事案につき従業員が告知、相談、対応を求めることの出来る窓口又は対策室などを設け、従業員が安心して相談し、助言や指導を受け易い人材を配置することが望ましく、社内事情や人事に精通した人柄の良い定年退職者などをコンプライアンス対策の人材として活用することも有用であり、商工会の経営指導員、社会保険労務士や弁護士などの専門家の助言や援助を求めることも又重要です。

3

以下に重要なコンプライアンス違反について例示を致しますので、参考にして下さい。

(1) 従業員の就労条件、安全配慮等	労働契約法、労働基準法、労働安全衛生法等
(2) パワーハラスメントなど各種ハラスメント	労働施策総合推進法、男女雇用機会均等法等
(3) 納入業者、下請業者やフリーランス(企業や組織に所属せず、個人で受注する労働者)対応	独占禁止法、不正競争防止法、下請代金支払遅延等防止法、フリーランス取引適正化法等
(4) 新聞・テレビ・DM等広告関係	著作権法、個人情報保護法等
(5) 虚偽報告、不正検査等	行政関係法令

この人に注目

Vol.142

やまふくのうりんしゃ
わっこ谷の山福農林舎

代表 和栗 剛 さん
筑北村商工会



代表 和栗 剛 さん

「宝と宝がつながる未来」
田畑、山、エネルギー、人を結び

地域の宝（農業、林業、エネルギー、人）と福祉・教育をそれぞれつなげて協力し合える「輪」をつくり、誰もが力を発揮できる住みよい社会を目指します。

右記の理念のもと、「わっこ谷の山福農林舎」は約20名の地域住民が主体となり、2019年に設立されました。

法律で定められた特定非営利活動全20種類のほぼ全て（19種類）を活動範囲に入れる珍しいNPO法人です。

私は東京で生まれ、神奈川県でソーシャルワーカーとして働いていた2007年に、妻が妊娠、「子育ては村でしたい」という夫婦の想いから、全国をまわって移住先の「村」を探していました。

筑北村は県内地方都市や東京・名古屋へのアクセスの良さ、日照率の高さや人口規模、標高、屋根の雪下ろしが必要ない等の理由から、移住先の有力候補でした。そんなとき「村には障がい者施設がなく、整備したいが運営できる人材がいらない」という話があり、村社会福祉協議会での障がい福祉部門の立ち上げ、運営に携わることになった。2008年からいいただきました。

その後、村社協で働いた2019年までの間に、障がいを持たれた方が「通う・過ごす場所」、「働く場所」、「暮らす場所」、「相談する場所」の計10事業を開設しました。「障がい」は「社会側の障壁」だということが、国内でも少しずつ認知が進んできています。「仕組みをつくることで『誰もが役割がある地域づくり』をスピード感を持って進めたい」という想いが法人設立に向かう原動力となりました。

当地のような過疎の進んだ中山間地域（平坦な耕地の少ない平野・山地間

の地域）では、各自が個々の事業に専念するだけでなく、複合的な視点から、農、林、エネルギー、教育、福祉といった事業をそれぞれ連携し、協働を推進していくことが求められます。

平野に比べて効率で劣る中山間地域での農業を継続していくために、付加価値の高い作物——減農薬栽培りんご、天日干し米、原木きのこ、園芸用のサクラ等——を生産しつつ、地域の困りごとに様々な人材を派遣する「おてこ衆代行サービス」を実施しています。

おてこ衆代行サービスでは、田畑の耕起や作物の収穫などの農家の手伝いや、空き家の管理、引っ越しの手伝い、庭木の剪定、草刈り、清掃、書類申請等々に広く対応し、人手不足を解消するとともに、放置林は間伐や、用材に適した木を選んで切る「択伐」、あるいは育ちすぎた屋敷林の特殊伐採など、森林を健全な姿に戻す整備を行い、それによって得られた材木を、温泉施設の熱源に再利用して灯油の使用量を年間6万円削減するとともに、ストーブ用の薪、DIY材、アロマオイル等にも活用、それらの製造を通して地域の雇用も掘り



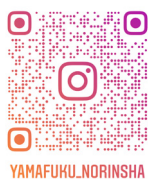
減農薬栽培りんご

起こし、循環型社会の実現へと歩み続けています。

また豊かな環境を活かして、自然体験活動や農山村体験の希望者を受け入れ、イベントを開催、関係人口と交流人口の増加にも寄与しています。

「わっこ谷の山福農林舎」は、スタッフはもとより、会員、高齢者、障がい者、ひきこもり者など多様な地域住民が「できること」を持ち寄って運営されています。地域住民同士が「お互いに必要な関係」となっていくことが、地域の豊かな未来へとつながると考えています。

皆さんもわっこ谷で「宝さがし」をしながら、一緒に過ごしてみませんか？皆さんのお越しを心よりお待ちしております。お待ちしております。



YAMAFUKU.NORINSHA



特殊伐採

わっこ谷の山福農林舎
住所 / 〒399-7501 長野県東筑摩郡筑北村西条3846番地
TEL・FAX / 0263-66-3035
E-mail / info@yamafuku.org URL / https://yamafuku.org

「この人に注目」をシリーズで毎号掲載しています。商工会地域内で頑張っておられる方をご紹介します。



信州DCの誘致を要望し令和9年の開催が決定

経済4団体（（一社）長野県経営者協会、長野県中小企業団体中央会、（一社）長野県商工会議所連合会、長野県商工会連合会）では令和7年2月18日に、JRと自治体、観光事業者等が共同で行う2027年の大型観光キャンペーン「信州ディスティネーションキャンペーン（以下、信州DC）」の誘致実現に向けた要望を行いました。

国内最大級の観光キャンペーンであるDCを、県内で善光寺御開帳や国民スポーツ大会、諏訪御柱祭などの大型イベントが相次ぎ開催される時期に合わせて展開し、宣伝効果の拡大と集客の底上げを図り、観光客に県内全域をくまなく巡ってもらい、観

光を中心とした地域経済への波及効果をもたらすことをねらいとしています。

経済4団体を代表して、経営者協会の平林専務から阿部知事に要望書を手渡しました。阿部知事からは、誘致に向けて県として取り組み、誘致が実現できた際には経済4団体とともにプロモーションや観光誘客に取り組むたいとの回答をいただきました。

3月28日には要望が叶い、令和9年（2027年）7～9月の開催地が長野県に決定したため、商工会、商工連では商工会管内を中心に本県の優れた観光地や景勝地を積極的にアピールし、地域経済の活性化につなげられるよう取り組んでまいります。



日赤長野県支部
からのお知らせ

日赤活動資金へのご協力をお願い

活動資金

ひとりでも多くのいのちを救うために

日本赤十字社では、災害救護、救急法等の講習や青少年赤十字など「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ことを使命として活動しています。

日本赤十字社が実施する人道的活動へ



寄付者



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

長野県支部



赤十字が取り組むさまざまな活動は、皆様からお寄せいただく寄付（活動資金）によって支えられています。

これからも、いのちを救い続けるため、ご協力をお願いします。

【資料請求・お問い合わせ先】



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

長野県支部 組織振興課

TEL：026-226-2073

詳細はコチラから▶

日赤長野県支部

検索



対 談



長野県商工会連合会

間瀬 一郎

会 長

全国商工会連合会

宮窪 大作

地域経済再生本部長

令和7年2月13日（木）に長野市「商工連」にて、間瀬会長が宮窪地域経済再生本部長と対談を行いました。

間瀬 全国商工会連合会地域経済再生本部長に就任された経緯と役割を教えてください。

宮窪 若者は地元を離れ、地方の誇りは薄くなっています。また、景気回復を感じられず、閉塞感が広がり不安を抱く生活が続いています。衰退する地域経済を変えていくため、商工会地域を回り、地域経済の課題、事業者のお

悩みを聞き、地域経済の再生に向けて国政に訴えていくことが私の役割です。
間瀬 全国を回られてどのように感じられましたか。

宮窪 全国を回って感じたのは、加速度的な人口減少と高齢化です。商工会地域には過疎地域や消滅可能性都市が多く存在し、早急な支援が必要であると感じております。青年部や女性部、壮青年部のみなさんとお話している「地域を守る」覚悟を感じ、支援を行えば絶対に地域経済の再生は可能であると思っています。

間瀬 これから地域や小規模事業者が持続的に発展していくためには何が必要だと思いませんか。

宮窪 私は、「健康経営」の言葉でお話をしていますが、多くの事業者さんが自社を人として考えたときに健康的な生活を送っておられません。まずは、商工会において「企業の経営の健康診断」を行って、商工会を活用してその課題の一つひとつに向き合っていくことが必要ではないでしょうか。また、そのためには、商工会の組織の活性化が必要不可欠です。

間瀬 本部長としてどのようにに地域経済が再生していくとお考えでしょうか。

宮窪 私の地元富山県庄川町では、人手不足解消のため、「就労待機者への就労体験事業」を始めています。まずは、地域が残っているように地域の雇用創出を実現し、地域の経済規模を大きくするとともに人口流出を止めていくことが再生の第一歩だと思っています。次に、「健康経営」を行って企業の数を増やすことが第二歩です。そして、その経済循環が地域でも活性化すれば、必ず、地域経済は再生すると私は考えております。



宮窪大作 プロフィール

昭和49年生。富山県庄川町出身。富山県商工会青年部連合会長を経て、平成23年全国商工会青年部連合会長に就任（第19代）、令和6年3月より全国商工会連合会地域経済再生本部長。

住民の皆さんが、地域を愛し心豊かに暮らせるように、私は活動を行っています。

変化する時代に生まれた頼れる法人カード

※商工会の会員である法人および個人事業主の方が対象です。



プラチナ



ゴールド



一般

商工会ビジネスプラスカードの

入会はこちらから!



https://www.jcb.co.jp/corporate/houjin/shokokai_tk.html

おトクな
入会特典

WEBでの入会手続きで入会時にキャッシュバック!

※新規ご入会応諸口座ベース ※キャッシュバック方式
※本カード入会にはカード会社所定の審査がございます。

プラチナ **15,000円** ゴールド **10,000円** 一般 **5,000円**

この機会にぜひご入会ください!

point 1

**キャッシュバックで
経費削減!**

交通費、出張旅費、通信費のご利用分
毎月最大3%をキャッシュバック!
(上限15,000円/月)

当社指定の国税のご利用では
一律0.3%キャッシュバック!

ソリマチ株式会社指定の製品・サービスのご利用で
購入代金を3%OFF!

point 2

**サイバーリスク保険
自動付帯!**

カード券種に応じて50万から100万円の
損害賠償責任を補償!

総合支援サービスにより
インシデント発生前後をサポート!

※JCB法人カード専用のサイバーセキュリティデスクが無料でサポートします。

point 3

年会費無料!
(一般カードのみ)

一般カードの**初年度年会費無料!**

年間30万円以上のご利用で
翌年も無料に!

(通常1,375円[税込])

point 4

**忙しい経営者の方の負担軽減のための
各種サービスがご利用できます!**

ANA Biz

JAL ONLINE

EX予約

Corporate Service



その他多数あり

詳しくはこちら

<https://www.jcb.co.jp/corporate/service/index.html>

